

「あいち はぐみんプラン2020-2024」(目標)の達成状況について

基本施策		目標		2024年度までの進捗状況		
		現況(計画策定時) ⇒	目 標	数値	評価	評価の理由 / 取組状況 / 今後の推進方策
2	就労支援	② ヤング・ジョブ・あいち利用者の就職者数	<div>6,680人 (2018年度)</div> <div>➡</div> <div>6,748人 (2024年度)</div>	5,516人	×	【評価の理由】 雇用回復傾向、求人検索のオンライン化などにより来所者数が減少しており、ヤング・ジョブ・あいち経由の就職者数も減少している。 【取組状況】 目標達成に向けて、関係機関と連携しながら就職支援に取り組んだ。 【今後の推進方策】 企業活動は回復傾向にあり、求人数の増加が見込まれることから、若年者の就職支援を継続的に行っていく。
4	結婚支援	④ 出会いの場を提供するイベント実施数	<div>1,133回 (2018年度)</div> <div>➡</div> <div>1,500回 (2024年度)</div>	232回	×	【評価の理由】 新型コロナウイルスの影響によりイベントの中止が相次ぎ、その後も開催数が回復せず、当初の計画より大幅に減少したため。 【取組状況】 イベント実施団体等を「プラチナ出会い応援団」、「出会い応援団」として登録。ホームページで婚活イベント情報を掲載。 【今後の推進方策】 「出会い応援団」が実施する婚活イベントに対する補助を行うことや、企業や地域団体等に結婚支援の取組の提案等を行う「結婚支援コンシェルジュ」を派遣すること等により、県内で行われる結婚支援の取組を支援する。
5	安心・安全な妊娠・出産の確保と不妊治療への支援	⑤ 新生児集中治療管理室(NICU)の整備数	<div>189床 (2019年度)</div> <div>➡</div> <div>増加 (2024年度)</div>	187床	×	【評価の理由】 病床数が減少したため。 【取組状況】 愛知県地域保健医療計画にてNICUを有する施設数の維持を計画している(2024年3月公示)。 【今後の推進方策】 NICUにて質の高い新生児医療を効率的に提供できるよう図る。
12	子どもの健康の確保	⑱ 小児集中治療室(PICU)の整備数	<div>22床 (2019年度)</div> <div>➡</div> <div>26床 (2024年度)</div>	22床	△	【評価の理由】 病床数が計画策定時と同水準だったため。 【取組状況】 愛知県地域保健医療計画にて増床を計画している。 【今後の推進方策】 地域性を考慮の上、PICUの整備を進める。
22	県民・企業が一体となって応援する機運の醸成	⑳ 子育て家庭優待事業登録店舗数	<div>9,739店舗 (2019年度)</div> <div>➡</div> <div>10,000店舗 (2024年度)</div>	9,679店舗	×	【評価の理由】 2024年途中までは増加傾向で推移していたが、2025年3月からの「はぐみんカード」電子化に当たり、廃業等が判明した事業者の登録状況を再整理する等、登録店舗を精査したところ、登録数が減少する結果となったため。 【取組状況】 愛知県の子育て支援ポータルサイト「はぐみんネット」にて協賛店舗の募集を行っている。 【今後の推進方策】 はぐみんネットでの協賛店舗募集に加え、はぐみんカード電子化に関するチラシやポスター等により周知・募集を進める。
23	経済的支援の充実	㉓ 理想の子ども数を持ってない理由として「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」を挙げる人の割合	<div>51.3% (2018年度)</div> <div>➡</div> <div>47.7% (2024年度)</div>	62.4%	×	【評価の理由】 コロナ禍による経済状況の悪化や物価高騰の影響等により、計画策定時と比較して11.1%増加したため。 【取組状況】 児童手当の支給や第三子以降児の保育料の無償化等(令和7年10月以降は第二子以降児に対象を拡大。)のほか、低所得者を対象とした県独自の給付金である「愛知県子育て応援給付金」を支給するなど、子育て家庭への経済的支援を実施している。 【今後の推進方策】 引き続き子育て世帯への経済的支援を行っていく。